



兵庫県議会議員

## 橋本なるとし

今年の冬は寒さが長引きましたが、それでも春はやってきます。そしてあっという間に暑さが訪れます。お元気でお過ごしでしょうか。

2月議会、分断が続く兵庫県政を立て直すため「対話の技術、対話の精神を学ばねばならない」と訴えた橋本なるとしの一般質問は、YouTubeチャンネル「政治の世界」にて紹介され約5.9万回も再生されるなど反響を呼びました。今なお斎藤知事は、百条委員会、第三者調査委員会の報告により示された事実認定を受け入れようとはしていませんが、そうした中でも県議会は新年度予算をはじめ113もの議案と、請願・意見書の審査議決を行い、県政推進の方向性を示しました。

兵庫県議会  
一般質問



政治の世界  
YouTube



兵庫県議会 第370回定例会 審議日程：2025年2月18日～3月26日

### 2月26日 一般質問

冒頭、亡くなられた先輩議員である竹内英明さんをはじめ、この一年で亡くなられた複数の兵庫県関係者に心を寄せ、どこに真実があるのか、課題を明らかにして、あるべき姿を模索することこそ議会の役割だと訴えました。そして、知事に対しても人間・斎藤元彦としての誠実な対話を求めました。

#### 1 阪神オリックス優勝記念パレードのあり方について

同パレードの兵庫県事務局において会計責任者の任にあった元県民生活部総務課長はパレード終了後に療養休暇に入り、昨年4月に亡くなられました。橋本なるとしは市役所で22年働いた元公務員であり、同パレード実行委員会のあり方について5項目の課題を指摘し、今後同様の事業を行う際の指針とすべきと訴えました。主な論点は以下のとおりです。

##### ● パレード実施に関する意思決定過程が文書に残されていないこと

大阪府の吉村知事と斎藤知事は甲子園の始球式で出会った際にパレードの話になり、関経連の松本会長と相談して決めたとのことだが、行政には文書主義の原則があり、事業の目的や資金繰りの枠組みなど検討過程を残しておくことは最低限必要なこと。そもそもの意思決定が杜撰であったことが明らかになった。

##### ● 目的と成果の検証がなされていないこと

同パレード実行委員会の規約には、大阪・関西万博の機運醸成が目的の一つとして明記されている。しかし、スポーツの政治利用といった批判の声が出たため、パレードの際には「万博」の文言は伏せられていた。その点に関しては目的を達成しなかったことになるが、事業の評価は行っていないとの答弁であった。



第7回県政報告会  
開催のご案内

📅 日時：2025年5月11日(日) 15:00～16:30

📍 場所：橋本なるとし事務所(宝塚市野上2-4-15)

✉ 申込先：hashimotonarutoshi@gmail.com

※ 席確保の都合上、事前にお申込みをお願いします。

## ● 資金繰りのリスクについて

当初5億円と見られた費用は最終的に6億4千万円まで膨らみ、一方でクラウドファンディングの不調により、協賛金の増額が求められた。大阪では最終的に4億3千万円を集めたが、兵庫では9300万円、うち2千万円は産業文化部の補助金増額で直接メリットを受ける信用金庫から拠出されたもの。会計責任者であった元総務課長に大きな精神的重圧がかかったことは、想像に難くない。県の答弁は、資金不足にならないよう財界とも協力して取り組むこととしていた、と述べるだけで資金調達リスクへの対処方針は全く不明。これは、万博とも共通する構造的問題と言える。

## ● 監査のあり方について

実行委員会は任意団体とはいえ、公務員が事務局を担う公的な組織であり、公金と同様に適正性を確保する必要がある。しかし監事による内部監査のみで、県の監査は対象外。質疑の中で、元課長が療養に入って以降の決裁においても、課長名の個人印が押印されるという不適切事例も発覚。契約事務においても、イベントが終了してから契約金額が当初の倍にまで増額されるなど、公金と同様の適正さを担保できているとは言い難い。実行委員会形式での事業における監査のあり方は大きなテーマとして追及していく。

## 2 都市計画道路中筋伊丹線（中筋工区）の着工に向けて

中筋八幡神社や宝乃湯がある中筋2丁目交差点は、県が認定する主要渋滞個所であり、南北交通の幹線道路である中筋伊丹線の4車線化は経済効果が見込める重要な施策です。すでに伊丹市域の4車線化は完了しており、中筋7丁目交差点以北の道路改良が進められます。しかしこれから設計、用地買収を進めるため、10年越しの大事業となります。また、東西交通の幹線である市道長尾線についても中筋7丁目交差点で右折レーンがないことから渋滞が頻発しており、早期の交差点改良が求められています。県と市の連携により早期に事業着手し、渋滞解消を目指す旨の答弁がありました。



## 能登半島最奥部の珠洲市へボランティア訪問

過疎化が進み、人口減少が続く能登半島の最奥部にある珠洲市。関西広域連合が調整するカウンターパート方式により、兵庫県は珠洲市の復興を支援しています。ご存じのとおり、珠洲では昨年まで3年連続で地震に見舞われ、昨秋には豪雨被害も受けました。多くの命と経済的被害のみならず、これからどのように復興してゆけば良いのか、現実とどう向き合ってゆけば良いのかという苦しみを味わっておられると感じました。仮設住宅でやっと落ち着いたから、家の整理をしようとボランティアを依頼された高齢女性。新居を購入されて引越されるご家族。陶芸のお仕事を続けるための薪組み支援。お店を復活させて名産バームクーヘンで街を活気づける若手経営者。ささやかでも、お手伝いしますよ、という志縁の心が、被災された方の歩みを支え、生業の復興につながることを願って関わりを続けます。

● 学歴：宝塚武庫山幼稚園 / 宝塚第一小学校 / 大阪教育大学附属池田中学校・高校 / 京都大学法学部卒

● 職歴：宝塚市役所 / 衆議院議員桜井シュウ秘書 / 兵庫県議会議員（2023年4月～） / 立憲民主党兵庫県連 政務調査会長

発行元：兵庫県議会議員 橋本なるとし

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-15

0797-26-7588 / 0797-26-7589(FAX)

hashimotonarutoshi@gmail.com

https://hashimoto-narutoshi.com



橋本 なるとし

検索